

教員の教育・研究活動報告			
役職／職名	特任教授	所属	現代国際学部 グローバルビジネス学科
ふりがな	くぼ まりこ	生年	1966年
学歴	国際基督教大学教養学部語学科卒業（1989年3月）		
学位	教養学士（1989年）		
研究分野	グローバルキャリア開発・人材育成に関する実務 顧客体験価値向上戦略に関する実務 航空ビジネス戦略とオペレーションに関する実務		
研究テーマ	異文化間コミュニケーション ホスピタリティ サービス品質マネジメント 組織マネジメント 航空サービスオペレーション		



主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
エアライン オペレーション入門改訂版（第3刷）	共	2017年 1月	発行：株式会社ぎょうせい 編集：株式会社ANA総合研究所	P81～P89 2-3客室乗務員パート 2-3-1CAの保安業務 2-3-2緊急対策

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
異文化間コミュニケーション 研究比較 ～J.コンドンとK.S.シタラムの場合	単	1989年 3月	国際基督教大学学士論文	

主な職務上の業績

資格・免許

資格・免許の名称	取得年月	発行者・登録番号	備考
教員免許（英語：中学1級、高校2級）	1989年3月31日	東京都教育委員会 I 中1普第21818号・1高2普第 22561号	
国家資格キャリアコンサルタント	2025年4月14日	JCDA日本キャリア開発協会 25018295	
国連英検A級	1987年12月23日	財団法人日本国際連合協会	
シニアソムリエ	1995年10月1日	社団法人日本ソムリエ協会 747	
マナー・アドバイザー	2005年9月19日	全日本マナー検定協会 642	
仏検準2級	2012年7月30日	APEF公益社団法人フランス語教 育振興協会	
メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種	2013年11月3日	大阪商工会議所	
HSK3級	2014年12月6日	中国政府教育部中外言語交流合作 中心 H31412045813	
WSET LEVEL3	2016年2月25日	英国Wine & Spirit Education Trust（WSET） 201031593816	
ユニバーサル検定1級	2025年9月29日	一般社団法人日本ユニバーサルマ ナー協会 2001000552	

社会的活動等

活動事項	期間（年月）	活動機関名
航空教室	2003年9月25日～26日	大連日本人学校
航空教室	2004年9月15日～16日	バリエロナ日本人学校
航空教室	2004年9月17日～18日	ハンブルグ日本人学校
航空教室	2005年11月16日～17日	北京日本人学校
航空教室	2007年12月4日	ANA/パリ支店
航空教室	2007年12月5日	ANAブリュッセル支店
航空教室	2012年4月28日	ワシントン日本人学校
航空教室	2012年9月15日	東京都渋谷区立東山中学校

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
日本実務教育学会

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
1989年4月	全日本空輸株式会社入社 成田空港支店 国際線 客室乗務員	
1995年10月	同 教育訓練部 インストラクター	
1998年4月	同 成田客室部 グループスーパーバイザー	
2002年4月	同 ロンドン客室課 アシスタントマネージャー	
2002年10月	同 成田客室部 品質監査担当	
2006年4月	同 成田客室部 マネージャー	
2007年4月	同 ロンドン客室課 マネージャー	
2009年4月	同 東京客室部 マネージャー	
2013年4月	同 訓練センター客室訓練部セーフティ訓練課 主席/リーダー	
2016年7月	株式会社スターフライヤー出向 運送客室本部客 室部 担当部長/部長	
2020年4月	ANAビジネスソリューション株式会社出向 営業 本部研修事業部副部長/研修企画統括	
2023年4月	ANA成田エアポートサービス株式会社出向・ANA 成田空港支店兼務 総務部 広報担当部長	
2025年4月	ANA総合研究所出向 産学連携部 主席研究員	
2026年4月	名古屋外国語大学 現代国際学部グローバルビジ ネス学科 特任教授	

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
航空概論/エアラインオペレーション	現代国際学部
航空産業論/エアラインビジネス	現代国際学部
ホスピタリティ応用演習	現代国際学部
基礎ゼミⅠ・Ⅱ	現代国際学部グローバルビジネス学科
専門ゼミⅠ・Ⅱ	現代国際学部グローバルビジネス学科
専門ゼミⅢ・Ⅳ	現代国際学部グローバルビジネス学科

授業の改善と工夫

改善と工夫内容
長年の実務経験や、客室乗務員のシナリオベースドトレーニングで培ったエッセンスを取り入れながら、自分で考え、判断し、行動できる人材を育てられるよう心がけています。また人としての温かさを大切にしたコミュニケーションを重んじています。